



学力向上の取組



教育庁指導部 主任指導主事 西川さやか

本年4月18日（木）に、小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒を対象にした「全国学力・学習状況調査」が実施されました。都が実施する「児童・生徒の学力向上を図るための調査」と同様に、この「全国学力・学習状況調査」も、自校の児童・生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて児童・生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることを目的としています。そのため、各学校においては、調査終了後、明らかとなった児童・生徒一人一人の課題の克服に向けて、様々な取組を行っていくことが大切です。

今回の国の調査では、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、主として「知識」に関するA問題と主として「活用」に関するB問題というこれまでの区分を見直し、知識・活用を一体的に問う問題として出題されました。新学習指導要領において、教科等の目標や内容は、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱が相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立って、調査問題の在り方が見直されました。

調査後の結果から、児童・生徒の具体的な解答状況や学習の達成状況等を把握することはもとより、ぜひ、調査問題に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげていただきたいと思います。

掲載内容

- 平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」から明らかになった課題・解決例
- 「学びを支えるスクラム」の紹介（保護者向けリーフレット）
- 小学校第5・6学年の外国語の指導の充実に向けて
- 平成31年度「全国学力・学習状況調査」について
- 東京ベーシック・ドリルについて

東京都教育委員会のホームページ「学校教育」内の「指導資料・報告書等」のページには、各学校が指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図るための諸資料を掲載しており、メール・マガジン「スクラム」のバックナンバーも、こちらに掲載しています。

ぜひ御覧いただき、参考にいただければと思います。

（東京都教育委員会ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

★ 授業改善や学習指導に関わる先進情報等については、こちらも御覧ください。→



東京都教育委員会の公式アカウント
(@tocho_kyoiku)

平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」から明らかになった課題・解決例

東京都教育委員会は、昨年の平成30年7月5日に小学校第5学年及び中学校第2学年を対象に「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施いたしました。また、平成30年10月には、その結果をまとめた報告書を都内小学校・中学校等に配布しました。

今回は、昨年度の調査問題から明らかになった事柄について紹介いたします。

1 結果の分析

(1) 学力の定着が図られている問題例

◇小学校算数

次の計算をしましょう。 **正答 4** **参考：平成25年度**
正答率 88.6% **正答率 78.2%**
 $10 - 3 \times 2$

◇小学校理科

電気とじしゃくの性質を利用して、電気を通すか、じしゃくに引き付けられるかについて実験をしたところ、次の【実験の結果】のようになりました。板A、板B、板Cと素材との組み合わせとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【実験の結果】

	電流	じしゃく
	通る板	調べる板
板A	通した。	引き付けられなかった。
板B	通した。	引き付けられた。
板C	通さなかった。	引き付けられなかった。

ア 板A：アルミニウム
板B：鉄
板C：プラスチック
イ 板A：鉄
板B：プラスチック
板C：アルミニウム
ウ 板A：プラスチック
板B：鉄
板C：アルミニウム
エ 板A：鉄
板B：アルミニウム
板C：プラスチック

正答 ア **参考：平成23年度**
正答率 71.0% **正答率 52.4%**

(2) 改善が図られつつある問題例

◇中学校英語

英文の流れに合うように、() 内の語を並べ替えた順番として最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

お店で
A: I want a new T-shirt.
B: What (1 you 2 color 3 like 4 do)?
A: I like blue.

ア 4-1-3-2 **イ 4-1-2-3** **ウ 2-4-1-3** **エ 2-1-4-3**

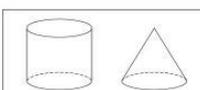
正答 ウ **参考：平成29年度**
正答率 53.8% **正答率 42.3%**

経年で変化を見る必要のある問題については、全教科で改善が図られています。

(3) 定着が不十分な問題例

◇中学校数学

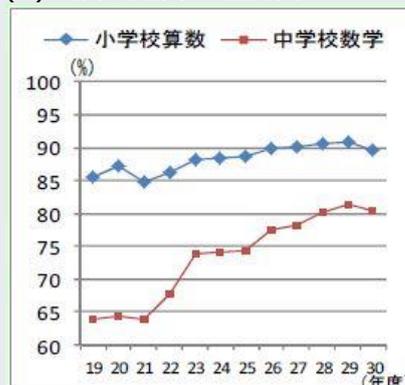
底面積と高さがそれぞれ等しい円柱と円錐があります。このとき、円柱の体積は、円錐の体積の何倍になるか答えなさい。



解答	3	2	$\frac{1}{3}$	その他	無解答
反応率	57.3%	20.8%	7.7%	9.0%	5.2%

文章から基準となるものを捉え、対象のものを表現することに課題があります。

(4) 授業内容の理解度



他の教科でも同様の傾向がみられます。

授業の内容が「分かる」と回答した児童・生徒の割合は、小学校において高い状態を維持し、中学校においても増加傾向にあります。

- ◎ 東京都教育委員会は、次の4点に取り組みます。
 - ・ 知識・技能の確実な定着、思考力・判断力・表現力の一層の伸長を図るため、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を図ります。
 - ・ 単元や内容のまとまりの中で児童・生徒が自身の思考過程を振り返る活動を促進し、思考力・判断力・表現力の更なる充実を図ります。
 - ・ グループ活動において自他のよさを認め合う学習活動を促進し、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ります。
 - ・ 家庭での学習や生活についてまとめた保護者向け「リーフレット」による情報を発信し、学校と家庭、地域との連携の充実を図ります。

◎以下のURLから詳細を確認することができます。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/press_release/2018/release20181025_01.html

「学びを支えるスクラム」の紹介（保護者向けリーフレット）

東京都教育委員会では、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果のポイントを簡潔にまとめ、家庭教育の大切さについて一層の理解を図ることをねらいとして、「学びを支えるスクラム」を作成し、平成31年3月に小学校第4学年児童の保護者に配布しました。



このリーフレットでは、御家庭において、お子さんの学習や生活について取り組んでいただきたいことを紹介しています。

＜リーフレットの内容＞

- 1 お子さんの学力向上と関連の深いものとは？
- 2 お子さんの学習を家庭で支援する取組例
- 3 保護者の方と、お子さんで見つめ直す3つの会話のポイント

1 お子さんの学力向上と関連の深いものとは？

- ・ 家庭では、家の人と学校や社会の出来事について話している児童ほど、平均正答率が高い傾向がみられました。
- ・ 小学校の授業では、自分の考えを発表する機会がある児童ほど、平均正答率が高い傾向がみられました。

2 お子さんの学習を家庭で支援する取組例

ここでは、国語、社会、算数、理科の調査問題をもとに、子供の学力向上のための家庭での取組例や話合って欲しいことなどを取り上げています。

1 お子さんの学力向上と関連の深いものとは？

平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」児童質問紙調査の結果から

家庭では、家の人と学校や社会の出来事について平均正答率が高い傾向がみられます。

「家の人と、学校の出来事について話をしていますか、」という質問に

49.2	31.0	13.9
------	------	------

回答ごとの学力調査(4教科全体)の平均正答率

66.6	63.6	60.9	57.5
------	------	------	------

「家の人と、社会の出来事について話をしていますか、」という質問に

21.4	32.1	33.2
------	------	------

回答ごとの学力調査(4教科全体)の平均正答率

65.9	63.1	57.2
------	------	------

この結果を見ると、家の人と特に社会の出来事について話をすることで、学力向上を図る上で大切ということが分かります。

2 お子さんの学習を家庭で支援する取組例

国語 平成30年度調査問題

③ 出題のならび▶第3学年までに記述されている漢字を文

次の_____をつけたカタカナの部分にある漢字を書きましよう。
理科の学習で、かん^んず^んづ^んのつなぎ方について調べた。

【この問題を間違えた理由についての分析】
この問題の回答の中で最も反答率が高いのは、「種地」で34.0%です。この漢字の読みかたがわからなかったことが原因です。「池」が何をかためて、いれておから開通させて開通することが大切です。
平成24年度には、「貯水手」として出題していますが、「池」と正しく書いた児童は「池」の自読み「子」について理解が定着していないことが分かります。

家庭でも挑戦！
身の回りの言葉について、その意味や成り立ち、使い方などについて話合おう。

例えば、おののく
なぜ、この漢字を
この言葉の意味は

家庭での取組例
ねえ、なんで「乗」の「乗」は、「うまへん」なのかな。馬と何か関係があるのかな。

「乗」は、もともと「馬を乗せておしよる」ことという意味なんだよ。

もともと「馬の乗る」という意味だったんだね。

「乗」と右側の部分が同じ漢字は、他にもいろいろあるよな。

「乗」の「乗」という漢字があるよ。「たくさんの人やモノを乗せる」とか、「乗る」とか、いろいろあるよ。

3 保護者の方と、お子さんで見つめ直す3つの会話のポイント

お子さんとの会話を、振り返ってみよう。

- お子さんがうまく言葉で表現できないときに、「～ということは、○○だね。」と要約するなど、会話の中で手助けをしていますか？
- お子さんが自分で解決できるように「どうしたらいいかな？」などと問いかけていますか？
- 「どうしてそう考えたのかな？」など、お子さんの考えたことについて、理由を聞いていますか？

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、以下のようなことにも気を付けてみましょう。

お子さんの顔を見て、会話していますか？
うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示していますか？
お子さんの話を、最初から否定しないで聞きますか？
お子さんの話を、最後までさせずには聞かずに聞きますか？

平成31年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校第5学年用)は、
2019年7月4日(木)に実施します。

調査項目 国語・社会・算数・理科(それぞれ小学校第4学年までの学習内容を中心に抽出)
学習に関する意識調査(学習や生活に関する意識や生活状況について質問紙形式で調査)

これまで実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査問題、解答及び東京ベアリング・ドリルの印刷、郵送は、東京都教育委員会ホームページから、印刷いただけます。
是非御覧いただき、参考にしたいだければと思います。
(東京都教育委員会ホームページアドレス: <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)

「東京ベアリング・ドリル」について
「東京ベアリング・ドリル」は、小学校1年生から中学校1年生までの国語・算数・理科、小学校3、4年生の社会・理科、中学校1年生の英語の基礎的な学習内容及び知識を身に付けるためのドリルです。印刷して取り組む「東京ベアリング・ドリル(プリント教材)」に加え、「パソコンやタブレット端末等を使って問題に答えたり採点したりすることができる「東京ベアリング・ドリル(電子版)」を東京都教育委員会のホームページに掲載しています。

3 保護者の方と、お子さんで見つめ直す3つの会話のポイント

ここでは、お子さんが保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように気を付けてほしいことを取り上げています。お子さんとの会話を振り返る内容です。

◎以下のURLから詳細を確認することができます。
http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/advancement/leaflet_h30.html

小学校第5・6学年外国語の指導の充実に向けて

新小学校学習指導要領では、小学校第5・6学年に外国語が年間70時間位置付けられ、令和2年度の全面実施に向け、平成30年度から移行措置が実施されています。

東京都教育委員会では、小学校第5・6学年の外国語の授業が円滑に実施できるように、「小学校第5・6学年外国語指導資料DVD」を作成します。校内研修等においてぜひ御活用ください。

小学校第5・6学年



指導資料DVD

外国語活動から
外国語へ

- ◆ 配布対象：都内公立小学校・中学校等（義務教育学校、中等教育学校前期課程を含む。）
- ◆ 配布時期：令和元年7月下旬を予定

「小学校第5・6学年外国語指導資料DVD」の特長

- 新小学校学習指導要領の内容や教材研究の方法など、外国語の指導に関わる基礎的な知識を確認することができます。
- 1単元分の単元計画・授業計画の立て方、授業の実践方法などについて、事例（実際の授業映像）から学ぶことができます。

<本指導資料DVDの活用例>

活用例1 DVD全体を通して見る

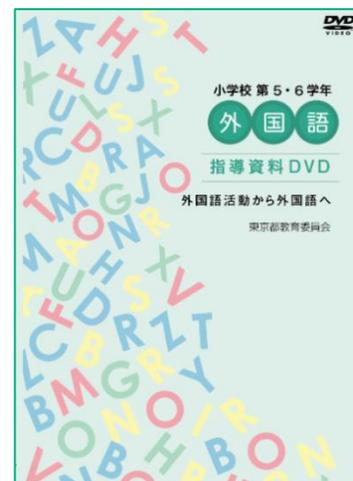
- 校内研修等の映像資料として活用する（これから行われる第5・6学年の外国語の授業を考えるきっかけにする）。
- 初任者の先生や初めて外国語を指導する教員・ALTの研修資料として活用する。

活用例2 短い時間の校内研修（ミニ研修）を企画し、研修資料として使用する

- チャプターごとに少しずつ見て、外国語の授業について考えていく。

活用例3 小・中連携の題材として活用する

- 小学校の指導を中学校の教員が知るきっかけにする。
- 本指導資料DVDを共通の題材として、小学校と中学校で連携して研修を行う。



<チャプター構成>

- 1 新小学校学習指導要領（外国語）の概要
- 2 新小学校学習指導要領（外国語）の趣旨を踏まえた授業づくり
 - ・ 小学校外国語授業の基本的な流れ（例）
 - ・ 第6学年 単元の指導例（We Can! 2 Unit 4 “I like my town.”）
 - ・ 授業改善に向けて
- 3 言語活動を充実させるために

